

謝恩価格本販売フェア開催	1
神保町ブックフェスティバル開催	2
第20回図書館総合展	3
ABJマーク利用説明会	4

日本書籍出版協会・事務所移転のお知らせ

日本書籍出版協会は、事務所を移転し、平成30年11月12日（月）より新ビルにて業務を開始いたします。移転先である神保町は本の街であり、新ビルには出版の団体が集結します。これを機にさらに業務の充実を図り、皆様のご期待に添えますよう、一層の努力を重ねてまいります所存です。

【新住所】

〒101-0051 千代田区神田神保町1-32 出版クラブビル5階

※新事務所の電話・FAX番号等は、決まり次第、当協会ホームページ等でお知らせする予定です。

また、引っ越しの前後はメール・電話・FAXが滞ることがございますので、ご了承ください。

皆さまにはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

謝恩価格本ネット販売フェア 10月26日から開催！

日本書籍出版協会（相賀昌宏理事長）は、再販制度の弾力運用の一環として、10月26日（金）正午から12月26日（水）正午まで、「読書週間」を中心にした2ヵ月間、インターネット限定での第30回「期間限定 謝恩価格本ネット販売フェア」を開催する。今回は81社（予定）の約1460点を本体価格の45%引きで販売する。

◆公式サイト <http://www.bargainbook.jp>
([バーゲンブック.jp](http://www.bargainbook.jp))

（販売サイトは楽天ブックス内に設置。10/26正午からオープンされる）

今回も注文書籍は楽天ブックスを通して販売する。点数にかかわらず送料は無料。代引きの場合は、別途手数料305円（税込）、コンビニ店頭支払いの場合は、別途手数料265円（税込）があわせて購入者負担となる（クレジットカード決済の場合、手数料は無料）。

今回も各種SNSを活用しながら読者に宣伝し、売上向上を目指す。以下は各SNSのURL。

◆Facebook <http://on.fb.me/1v9y03Q>

◆Twitter <https://twitter.com/shaonkakaku>

◆読書メーター <http://bookmeter.com/u/310967>

フェアへの参加予定出版社は以下の通り。

アイ・ケイコーポレーション、あかね書房、朝倉書店、イースト・プレス、岩崎書店、潮出版社、NHK出版、演劇出版社、太田出版、化学同人、学芸出版社、笠倉出版社、KADOKAWA、河出書房新社、かんき出版、関西大学出版部、求龍堂、ぎょうせい、金の星社、くもん出版、京阪神エルマガジン社、研究社、玄光社、現代数学社、講談社、光文社、光明思想社、高陵社書店、国際書院、国土社、語研、小峰書店、三省堂、JTBパブリッシング、清水書院、集英社、秀作社出版、出版ニュース社、主婦と生活社、小学館、少年写真新聞社、新建新聞社、新星出版社、青弓社、青幻舎、聖パウロ女子修道会（女子パウロ会）、誠文堂新光社、世界思想社教学社、世界文化社、創元社、総合科学出版、第三書房、大日本絵画、大和書房、TAC出版、玉川大学出版部、淡交社、中央公論新社、T0ブックス、東京ニュース通信社、日本ヴォーグ社、日本教文社、早川書房、ハンナ、万来舎、PHP研究所、ひかりのくに、フォレスト出版、プチグラパブリッシング、文一総合出版、文藝春秋、文研出版、ベレ出版、ポット出版、ポプラ社、ほるぷ出版、マルジュ社、光村教育図書、宮帯出版社、森北出版、山川出版社

（問合せ 日本書籍出版協会 TEL 03-3268-1303）

神保町ブックフェスティバル 10/27～28開催！！

第28回・神保町ブックフェスティバル(主催・神保町ブックフェスティバル実行委員会)は、10月27日(土)～28日(日)の期間、神田すずらん通り、さくら通り、神保町三井ビルディング公開空地等で開催される。

毎年好評を博している同フェスティバルだが、今年は過去最大となる245ブース(内、出版社関係は154社201台)の参加が予定されている。

□フェア 「本」の得々市ワゴンセール(謝恩価格本など。神田すずらん通り～さくら通り)。

□チャリティーオークション(主催：神田古書店連盟) 10月27日(土)14:00から、さくら通り中央特設会場にて行なわれる。売上げは千代田区を通じて関係機関

に寄付される。

□子供の本ひろば 三井ビル公開空地で絵本・児童書ワゴンセール、紙すき体験、シールラリー、おはなし会、かるた大会、こどものためのJAZZライブ等。

□その他 オープニングパレード、ビブリオバトル、ジャズ演奏、吹奏楽演奏等が行なわれる予定。

なお、昨年は3日間開催でワゴン約240ブースが出展、約7,300万円を売り上げた。

また、協賛イベントとして、第52回造本装幀コンクール公開展示、本の学校出版産業シンポジウム2018等も同期間に開催される。

(問合せ 同実行委員会 <http://jimbou.info/>)

第52回造本装幀コンクール 公開展示10月26日～28日

協賛
イベント

本の学校 出版産業シンポジウム2018IN東京

第52回造本装幀コンクール(主催：日本印刷産業連合会/日本書籍出版協会)の全出品作品が展示される公開展示会は、神保町ブックフェスティバル開催期間に併せて10月26日(金)から28日(日)まで、神保町の東京堂ホール(東京堂書店6階)にて開催される。開場時間は午前10時から午後6時まで(最終日の開場時間は午前10時から午後4時)。入場は無料。

本公開展示会では、入賞作品をはじめ、すべての出品作品約330点が展示され、直接手に取って鑑賞することができる貴重な機会となっている。

受賞作品以外のすべての作品が一堂に会するのは本展



昨年の展示の様子

示会のみ。また、会場内では本コンクールの公式冊子を含め、過去の公式冊子を特別価格で購入する唯一の場となる。

(問合せ・取材申込 同事務局 ☎ zouhon@jpic.or.jp)

NPO法人本の学校主催の出版産業シンポジウム2018in東京が、10月28日(日)12:30から専修大学神田キャンパスにて開催される。

本の学校は1995年開校以来、「大山緑陰シンポジウム」や「出版産業シンポジウム」など本の未来を考えるための活動を行っている。今回も、より豊かな読書環境を作り出すため、「神保町で本の“いま”を語ろう」をテーマに、4つの分科会と特別フォーラムを開催する。終了後は交流会も予定されている。

[12:30～14:00]

第1分科会「これからの書籍流通を考える-書籍専門取次の機能と可能性」

第2分科会「新書編集の現在、過去、未来」

[14:20～15:50]

第3分科会「本屋を開業する」

第4分科会「『雑誌作り授業』で見えてきた読者育成の重要性」

[16:10～17:40]特別フォーラム「『著者』と『本』と『読者』にとって、必要なこと、必要ではないこと」
詳細・申込みは、下記URLを参照。

<http://www.honnogakko.or.jp/archives/1188>

(問合せ 本の学校 ☎ 0859-31-5001)

第52回造本装幀コンクール 表彰式

第52回造本装幀コンクール（主催：日本印刷産業連合会、日本書籍出版協会）の表彰式が9月10日（月）千代田区立日比谷図書文化館コンベンションホールにて執り行われた。325点の応募作品の中から選ばれた受賞作品22点が表彰され、受賞者・関係者ら約120人が受賞の喜びを分かち合った。

式の冒頭、主催者団体である相賀昌宏書協理事長および浅野健日印産連副会長があいさつに登壇した。審査総評は武蔵野美術大学名誉教授の柏木博審査員長が務め、文部科学大臣賞（「池内晶子 | Akiko Ikeuchi gallery21yo-j刊）、経済産業大臣賞（「村上善男—玄々とした精神の深みに」玄風舎刊）、東京都知事賞（「はな子のいる風景 イメージを（ひっ）くりかえす」武蔵野市立吉祥寺美術館刊）



経済産業大臣賞を受賞した関係者

を受賞した3作品等の審査の様子を振り返った。受賞者



装幀家・小池俊起氏

代表謝辞では、文部科学大臣賞を受賞した装幀家の小池俊起氏と経済産業大臣賞を受賞した装幀家で著者の西野嘉章氏（東京大学総合研究博物館「インターメディアテク」）がそれぞれ壇上に上がり、受賞の喜びと作品づくりへの取り組みなどについて話した。閉会の辞は中町英樹書協専務理事が述べ、

表彰式を終了した。

■記念パーティー

表彰式終了後は、同館内にて記念パーティーが開催された。パーティーでの受賞者代表謝辞は、東京都知事賞を受賞した尾中俊介氏（Calamari Inc.）が行った。この日は、三賞選考審査員全員がパーティーに出席し、受賞者と話を弾ませながら、和やかな雰囲気でのパーティーが執り行われた。

【巡回展示】

（全出品作品）

10/26(金)～28(日)東京堂ホール

（入賞作品）

12月15日(土)～2019年3月31日(日)：印刷博物館

2019年3月中旬～4月上旬：奈良県立図書館

2019年3月21日～24日：ドイツ・ライプチヒブックフェア

「世界で最も美しい本コンクール」

2019年10月：フランクフルト・ブックフェア

第20回図書館総合展 出版・読書の発展を運営方針に開催

「第20回図書館総合展—図書館とともに進める まち・教育・情報の未来—」（主催：図書館総合展運営委員会）が、パシフィコ横浜展示ホールD/Aネックスホール他（横浜市西区みなとみらい）にて、10月30日（火）～11月1日（木）午前10時から午後6時の日程で開催する。

本展は、図書館関連産業の最大のトレードショーであり、館種を超えた図書館界全体の交流・情報交換の最適な場であり、また、学習環境・情報流通に関する技術と知見を発表する場を提供している。昨今、図書館の機能として求められている、都市計画・行政関

（株）トーハン主催 第1回 中日版權商談会開催 参加社募集のお知らせ

（株）トーハンは、関連出版社である中国出版トーハン（株）との共催で、「第1回 中国版權商談会」を10月30日（火）に都内にて開催する。今回の商談会は、トーハンと提携関係にある中国最大手の出版グループである「中国出版集団」傘下の9社が、商談会に参加する日本の出版社に対して中国語書籍を紹介し、日本での出版を目的に版權取引商談を行う会となる。

中国では、2016年度の書籍の売上げが約1兆3000億円（前年比101.1%）に上り、中国国内の市場の拡大が続いている。また多数のミリオンセラーが誕生しており、出版内容の多様化、編集・造本のクオリティも飛躍的に進化している。近年では、中国政府が「走出去」（中国のコンテンツの輸出振興）をスローガンに掲げ、業界を挙げて中国語出版物の海外進出を展開している。日本においても中国語出版物の翻訳出版需要が今後拡大すると予見されており、日本の出版社に対し本商談会への参加を呼びかけている。参加の申し込み・詳細問合せは、以下の通り。【参加申込締切：10月25日（木）】

トーハン海外事業部 担当：加藤 TEL 03-3266-9573 ✉ masaki.kato@tohan.co.jp

係、教育関係、出版をはじめとするメディア・情報関連産業を巻き込むイベントに成長している。また、第20回図書館総合展の運営方針では、出版・読書の発展に寄与すべく、図書館界と出版産業などの他業界との出会いを促進し、図書館界の新たなチャレンジ・可能性の拡大を目指すことも掲げている。

3日間の期間を通して、ブース出展、フォーラム開催、図書館へのおすすめ本、コミュニケーションブース出展などの種目が用意されている。また、参加型企画として全国学生協働サミット、「こんなにあります！あなたも使える専門図書館〈パネル展示〉」、地方創生レファレンス大賞等が展開される。

昨年は、522の参加出展があり、出版社の出展も多く、自社商品のプロモーションなどを積極的に行った。来場者は30,701名で、図書館・教育・行政関係者の他、地方自治体の首長・議員・教育委員会・企画部門等の関係者も多く来場し、公共図書館を文化政策・まちづくりに活用する自治体のトレンドを反映する形となった。

詳細は、図書館総合展公式ホームページまで。

<https://www.libraryfair.jp/>

(問合せ 同運営委員会 ☎LF@j-c-c.co.jp)

第72回「読書週間」開催 野間読書推進賞決定

(公社)読書推進運動協議会(=読進協)主催の、第72回「読書週間」が10月27日(土)から11月9日(金)まで開催される。今年の標語は、「ホッと一息 本と一息」。行事テーマは、①国民すべてに読書をすすめる運動、②特に青少年に読書をすすめる運動、③読書グループの結成促進、④家庭文庫・地域文庫・職場文庫の充実。全国各地域において5年以上活動し、実績をあげている読書グループのなかから「全国優良読書グループ(第51回)」を表彰するほか、「野間読書推進賞(第48回)」の贈呈式を実施、各道府県読進協へ行事補助金の贈呈等も行なわれる。

なお、今年の贈呈式は11月6日(火)、出版クラブビル(千代田区神田神保町)にて開催される。

■第48回「野間読書推進賞」決定■(以下敬称略)

読書週間に先立ち、8月28日(火)に第48回「野間読書推進賞」が決定した。同賞は、読書推進運動に功績のあった個人および団体を顕彰し、賞状と賞牌、副賞

(団体30万円、個人20万円、特別賞10万円)を贈呈する。今年の実賞者は下記の通り。◆団体の部 ねりま地域文庫読書サークル連絡会(東京都練馬区)、朗読グループ かざぐるま(静岡県焼津市)、たけのこ文庫(福岡県古賀市)◆個人の部 牟田昭一郎さん(佐賀県神埼市)◆特別賞(「こどもの読書週間」60回記念) 奈良県点訳グループ 青垣会(奈良県橿原市)、奈良県音訳グループ 草笛会(奈良県橿原市)
(詳細問合せ 読進協 ☎ 03-3260-3071)

海賊版サイト撲滅に向けた ABJマーク利用説明会

海賊版撲滅に向け、オンライン上のコンテンツが正規版であること証明する「ABJ(Authorized Books of Japan)マーク」(正規版ホワイトマーク)が制定された。電子書店、出版社等が運用する自社サイトなどにこのマークを表示することにより、読者やネットユーザーに対し、利用しているサービスが海賊版でないことを証明する。

現在、海賊版サイトの被害はコミック作品のみならず、文芸作品、雑誌、写真集、その他一般書等にも及んでおり、幅広いジャンルの出版物に対して甚大な影響を及ぼしている。コミック出版社のみならず、多くの出版社が、ABJマークを自社サービスにおいて運用することにより違法海賊版サイト撲滅を進めることが期待される。

このマーク利用についての出版社、著作者団体向けの説明会が下記日程にて行われる。

- ・10月29日(月) 日本書籍出版協会4階大会議室(新宿区袋町6)
- ・11月6日(火) メディアドゥ5階大ホール(千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル)

詳細と申し込みは以下のフォーム参照。

<https://goo.gl/forms/Dxr40ieBdrwi6zNm1>

○参加費無料 定員各180名

○予定している内容

- ①出版物の海賊版の現状について(海賊版緊急対策WG/集英社 伊東敦)
- ②「正規版マーク」の目的について(海賊版緊急対策WG/村瀬拓男弁護士)
- ③「正規版マーク」の運用システムについて(電流協 鈴木直人)

(問合せ 日本書籍出版協会 ☎ 03-3268-1303)

出版統計

書籍	8月期	前年同月比	1～8月期	前年同期比	書籍出回り	8月期	前年同期比	1～8月期	前年同期比	
新刊点数	5,600点	96.3	48,347点	99.5	推定出回数	7,104万冊	98.2	63,057万冊	95.7	
新刊推定発行部数	2,428万冊	97.1	20,156万冊	98.8	推定出回金額	803億円	99.8	7,385億円	96.9	
新刊平均価格	1,122円	100.2	1,174円	100.2	推定出回平均価格	1,130円	101.6	1,171円	101.3	
新刊推定発行金額	272億円	97.2	2,367億円	99.0	実売部数	8月期	前年同期比	1～8月期	前年同期比	
月刊誌	8月期	前年同月比	1～8月期	前年同期比	書	籍	3,992万冊	101.6	38,274万冊	95.7
発行銘柄数	2,060点	95.2	2,697点	97.0	月刊誌	5,932万冊	85.6	48,852万冊	86.8	
推定発行部数	10,499万冊	86.2	88,653万冊	87.8	週刊誌	2,204万冊	86.9	20,446万冊	88.3	
平均価格	639円	101.6	645円	101.3	実売金額	8月期	前年同期比	1～8月期	前年同期比	
推定発行金額	671億円	87.6	5,715億円	89.0	書	籍	480億円	103.3	4,729億円	96.8
週刊誌	8月期	前年同月比	1～8月期	前年同期比	月刊誌	364億円	86.9	3,090億円	88.0	
発行銘柄数	78点	98.7	82点	100.0	週刊誌	82億円	88.3	728億円	89.7	
推定発行部数	3,704万冊	90.5	33,477万冊	90.7	実売金額合計	926億円	94.8	8,547億円	92.8	
平均価格	383円	102.1	367円	101.4						
推定発行金額	142億円	92.3	1,230億円	92.1						

- 銘柄数 月刊誌は1ヵ月、週刊誌は1週間平均の発行銘柄数
- 部数 配本されたと推定される部数。書籍出回り部数は新刊・重版の流通総量を表したものの。
- 平均価格 部数を加味した加重平均価格(税抜)
- 金額 発行部数・出回り部数を価格で換算した金額

[提供 出版科学研究所 (TEL03-3269-1379)]

EVENT INFORMATION

フランクフルト・ブックフェア (第70回)

10月10日(水)～14日(日)

会場 フランクフルト国際見本市会場

テーマ国 ジョージア

BOOK EXP02018 秋の陣 ～買け!書店心魂～

11月7日(水)

会場 グランフロント大阪 ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター

内容 書店向け商談会。出展者238社245ブース

絵本ワールドinわかやま2018

11月10日(土)・11日(日)

会場 有田川町地域交流センターALEC

絵本ワールドinにいがた2018

11月18日(日)

会場 朱鷺メッセ

11月号休刊のお知らせ

いつも「JBPA News Clip 出版広報」をお読みいただきまして、ありがとうございます。1面でもお知らせしておりますように、当協会は、11月12日(月)から新事務所での業務を開始いたします。つきましては、移転準備作業に伴いまして、**「JBPA News Clip」11月号を休刊致します。**

恐れ入りますが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

約60年近く、神楽坂の事務所にて業務を続けてまいりました。新事務所への移転をひとつの機会に、我々も気持ちを新たにして邁進してまいりたいと思っておりますので、今後とも皆さまの変わらぬご愛顧の程、何卒よろしくお願い申し上げます。(書協事務局一同)

一般社団法人 日本書籍出版協会

発行人: 中町英樹

〒162-0828 東京都新宿区袋町6

TEL: 03-3268-1301

FAX: 03-3268-1196

Web サイトもご覧ください

<http://www.jbpa.or.jp>